

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

IgA 血管炎に伴う腹痛症例におけるステロイド減量前 D-dimer 値と再増悪の関連			
1. 研究の対象および研究対象期間 2024 年 1 月～2026 年 1 月までに昭和医科大学病院小児科または横浜市北部病院小児科に入院した IgA 血管炎患者さん			
2. 研究目的・方法 本研究は、IgA 血管炎に伴う腹痛に対する治療経過を調べることを目的としています。ステロイドを減量・中止した後に症状が再び悪化することがありますが、その予測因子は明らかになっていません。本研究では、減量前の血液検査（D-dimer 値）と再増悪との関連を検討します。なお、本研究は既存の診療情報を用いて行い、新たな検査や治療は行いません。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 本研究では、新たに採取する試料は用いません。これまでの診療で得られた診療録情報（年齢、性別、症状、治療内容、経過）および血液検査データ（白血球、赤血球、血症板、PT、APTT、D-dimer、CRP、BUN、Cr、Alb、AST/ALT、Na/K、ASO、XⅢ因子）を用いて解析を行います。			
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。			
6. 研究組織			
研究責任者	研究機関名	昭和医科大学病院	岡田祐樹

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 小児科

氏名： 岡田祐樹

住所： 品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8565